

## 第 63 回 経営協議会議事要録

日 時：平成 29 年 3 月 17 日（金） 13：30～15：35

場 所：本部管理棟 5 階会議室

出席者：脇口学長、櫻井理事（総務・国際・地域担当）、藤田理事（教育・附属学校園担当）、執印理事（研究・医療担当）、箱田理事（財務・労務担当）、宮井理事（男女共同参画担当）  
井上委員、大山委員、佐竹委員、千頭委員、近森委員、中島委員、吉澤委員

### 〔配付資料〕

- 資料 1-1 教職大学院概要（案）
- 1-2 高知大学大学院総合人間自然科学研究科教職実践高度化専攻設置計画書（抜粋版）
- 1-3 学生定員等移行表
- 1-4 高知県教育委員会からの設置要望書
- 資料 2 平成 29 年度国立大学法人高知大学年度計画（原案）
- 資料 3 平成 28 年度学内補正予算（第 2 次）の編成について（案）
- 資料 4-1 平成 29 年度国立大学法人高知大学予算編成方針及び予算配分基準（案）
- 4-2 平成 29 年度予算編成にあたって（主な留意点）
- 4-3 平成 29 年度予算（案）
- 4-4 機能強化経費配分額
- 4-5 第 3 期中期目標期間の大学分収支の推移見込（平成 28 年度～平成 33 年度）
- 資料 5 平成 29 年度資金管理計画について
- 資料 6 平成 28 年度財務状況
- 資料 7 平成 28 年度資金管理実績表
- 資料 8-1 役員の本給月額について（案）
- 8-2 国立大学法人高知大学役員報酬規則（抄）

議事に先立ち、第 62 回経営協議会の議事要録（案）の確認が行われ、異議なく承認された。

### 〔議題〕

1. 大学院総合人間自然科学研究科教職実践高度化専攻（仮称）の設置計画について  
櫻井理事から、資料 1-1～1-4 に基づき、大学院総合人間自然科学研究科教職実践高度化専攻（仮称）の設置計画について説明が行われ、審議の結果、承認された。  
委員より、大学には地域産業界等と大学教員との交流の場を積極的に設けてほしい旨の意見があった。
2. 平成 29 年度年度計画（原案）について  
櫻井理事から、資料 2 に基づき、平成 29 年度年度計画（原案）について説明が行われ、審議の結果、承認された。  
委員より、希望社会創発教育研究センターにおいて産学共同体のイノベーターを育成していくのであれば、大学に企業間が糾合していく中心となる役割を担ってほしい旨の意見があった。また、希望社会創発教育研究センターが将来的に地方創生の旗振り役になりうるのかとの質問があり、学長及び櫻井理事からセンターの設置趣旨等について説明が行われた。
3. 平成 28 年度学内補正予算（第 2 次）の編成について

箱田理事から、資料3に基づき、平成28年度学内補正予算(第2次)の編成について説明が行われ、審議の結果、承認された。

4. 平成29年度予算編成方針及び予算配分基準について

箱田理事から、資料4-1~4-5に基づき、平成29年度予算編成方針及び予算配分基準について説明が行われ、審議の結果、承認された。

5. 平成29年度資金管理計画について

箱田理事から、資料5に基づき、平成29年度資金管理計画について説明が行われ、審議の結果、承認された。

6. 平成28年度第3四半期の財務状況について

財務部長から、資料6に基づき、平成28年度第3四半期の財務状況について報告が行われた。

7. 平成28年度第3四半期の資金管理状況について

財務部長から、資料7に基づき、平成28年度第3四半期の資金管理状況について報告が行われた。

8. 役員の本給月額について

学長から、資料8-1、8-2に基づき、役員の本給月額について説明が行われ、審議の結果、承認された。

9. その他

- ・学長から、箱田理事の退任の紹介が行われ、理事から挨拶が行われた。
- ・事務局長から、事務局の部長の異動について紹介が行われ、転出予定者から挨拶が行われた。
- ・学長から、次年度の経営協議会の開催予定について説明が行われた。
- ・委員より、高知大学に求める役割は地域貢献であり、県内の各界に一定比率の高知大学卒業生がいるためには、総合的教育によるバランスのとれた人材育成を期待しているとの意見があった。
- ・自律自働して責任を持った職業人として働ける医師の育成をしてほしいとの要望があり、学長から現状についての説明が行われた。
- ・昨今文系不要論が議論されているが、人文社会科学部においてバランスのとれた人材を育成する教育を行っていくことは重要であり、このような人材に活路が見出せるのではないかとの意見があった。
- ・地域協働学部のような正解のない問題に取り組むことや、様々なバックグラウンドを持った人と議論することが幅の広い人材を育成できるのではないかとの意見があった。
- ・文系・理系に関わらず、幅広い教養を身に付けるとともに、コミュニケーション能力を身に付けることが重要であり、指導者側も叱ることが必要ではないかとの意見があった。
- ・学長から、経営協議会の学外委員の方々に対し、本年度の会議運営等にかかる謝辞が述べられた。

以上